

2012年10月23日
日本郵便株式会社

「JPタワー（旧東京中央郵便局敷地再整備計画）」内

商業施設名称は「**KITTE**」（キッテ）※ に決定

～ 2013年3月21日（木）グランドオープン ～

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 鍋倉 眞一）は、旧東京中央郵便局敷地（千代田区丸の内二丁目7番2号）において東日本旅客鉄道株式会社、三菱地所株式会社と共同で再整備計画を進めてきました「JPタワー」（本年5月31日竣工）内の商業施設名称を「KITTE」（キッテ）に決定しました。

併せて商業施設を含むJPタワー全体のグランドオープン日を2013年3月21日（木）に決定しましたのでお知らせいたします。（※当社所有部分の建物名称となります。）

日本郵便がはじめてつくる商業施設「KITTE」は、“切手”を貼ると郵便として大切な方に想いが届くのと同じように、商品やサービスに「KITTE」という付加価値を加えることで、それらに込められた想いまでもきちんと届けることができる施設でありたいという気持ちを込めて名付けました。

また「KITTE」には“来て”という意味も込められており、商業施設にとって大切な“賑わい”をつくることと、“多くの人に来て頂きたい！”という想いを楽しく伝えるネーミングとしました。

「KITTE」のロゴデザインは、いきいきと動きのある楽しい躍動感をヴィジュアル展開できるよう、文字の造形に含まれる柱のような長方形を活かして、垂直の方向性が特徴の商業空間も想起させるようデザインしました。色は日本郵便を象徴する赤色と、補色として深緑色の2色を使用しています。



商業施設名称「KITTE」（キッテ） ロゴデザイン

さらに国際ビジネス・観光情報センター「東京シティアイ」や、東京大学との産学連携プロジェクト「JPタワー学術文化総合ミュージアム・インターメディアテク」、国際会議等を含む多様なニーズに対応できる「JPタワー ホール&カンファレンス」といった3つの公共貢献施設も「KITTE」と同時にオープンし、JPタワーが2013年3月21日全面開業いたします。

『KITTE』コンセプト

「KITTE」は昭和6年に竣工した旧東京中央郵便局の局舎を一部保存・再生した保存部分と、新たに建築した新築部分の地下1階から地上6階までとなります。

全国津々浦々にユニバーサルサービスを提供する日本郵便がつくる商業施設として、日本の良さを集積した施設を目指し、コンセプトを「Feel JAPAN」としました。日本各地の古きよきものから新しいものまで、訪れるお客様との出会いをつなぎ、お客様が日本の“心地よさ”“奥深さ”“愉しさ”などを体感・再認識頂ける場を提供します。

「JPタワー」は、日本郵政グループの大規模不動産事業として第一号のプロジェクトであり、次世代のビジネスビルとしての高い性能と丸の内エリアの歴史的景観を未来に伝える深い趣を兼ね備えた東京駅前の新たなランドマークです。また、低層棟には商業店舗と公共貢献施設を配置し、東京駅丸の内駅舎復原で更に脚光を浴びる丸の内エリアにおいて、新たな賑わいを創出します。

『KITTE』フロア構成

保存部分と新築部分に囲まれたガラス天井のアトリウムが最大の特徴である「KITTE」は、地下1階から6階までの7フロア約9,400㎡に98店舗が出店いたします。

内装環境設計は建築家の隈研吾氏が担当し、コンセプトの「Feel JAPAN」を表現するため、木材や瓦、織物、和紙など日本古来より使われている素材を内装仕上材として多用し、歴史と未来がつながりあう空間を演出しています。

フロア構成としては、地下1階はJR東日本グループの株式会社鉄道会館による全国各地のご当地食を扱った飲食店舗・食物販フロア、アトリウムを見上げる1階は飲食店舗・ファッション雑貨等のフロア、2階から4階はファッション、ファッション雑貨、ビューティサロン、生活雑貨、ブックカフェ等のバラエティ豊かな店舗のフロアとなっており、5階及び6階は全国各地より話題の人気店・名店が集積したレストランフロアとなっております。

保存部分4階には旧東京中央郵便局の郵便局長室を当時と同じ状態に復元したメモリアルコーナーを設置しております。

さらには、6階屋上部分には東京駅丸の内駅舎を間近に見ながら駅前広場の景観を満喫できる約1,500㎡の屋上庭園を設置し、訪れた方に憩いの場を提供します。



※各パースはイメージです。

3つの文化・情報の発信拠点

1. 東京シティアイ

地下1階・地上1階には、東京を訪れる観光客の皆様へ、宿泊・交通からお食事・イベント・エンターテインメント、さらにはビジネスに至るまで様々なジャンルについて、情報の提供から各種手配サービスまで、ワンストップで幅広く行う観光・ビジネス情報センター「東京シティアイ」をオープン。施設内には旅行・観光イベントを開催するパフォーマンスゾーンや、観光客カフェの設置を予定しており、気軽に立ち寄れる「人と文化」、「人と旅」をつなぐ情報拠点を目指しています。

Tokyo City 
TOURIST & BUSINESS INFORMATION



内観パース（東京シティアイ）※イメージ

2. JPタワー学術文化総合ミュージアム「インターメディアテク」

2階・3階には、東京大学との産学連携プロジェクトとして、これまでにない新しいミュージアム「JPタワー学術文化総合ミュージアム『インターメディアテク』」（IMT）がオープン。

IMTでは、東京大学総合研究博物館の西野嘉章館長が提唱する「アート&サイエンス」をテーマに、同大学が1877（明治10）年の開学以来蓄積してきた学術標本を展示するほか、様々な活動と連動した独自の複合教育プログラムを展開いたします。

 INTERMEDIATHEQUE



3. JPタワー ホール&カンファレンス

4階・5階には国際会議から企業セミナーやレセプションまで、多彩な用途に対応する「JPタワー ホール&カンファレンス」をオープン。東京駅直結という絶好のロケーションのもと、3分割可能な合計600㎡の多目的大ホールのほか、複数のカンファレンスルームやミーティングルームを備え、様々な場面で人々の出会いやビジネスを繋げていきます。

JP TOWER Hall & Conference



内観パース（JPタワー ホール&カンファレンス）
※イメージ

JPタワー建物概要

□ JPタワー

所在地：東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
事業主：日本郵便株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、三菱地所株式会社
設計監理：株式会社三菱地所設計
提携建築家：ヘルムート・ヤーン
商業施設内装デザイン：隈研吾建築都市設計事務所
施工：大成建設株式会社
竣工：平成24年5月31日
主要用途：事務所・店舗・駐車場 他
構造形式：地上：鉄骨造／地下：一部鉄骨鉄筋コンクリート造
階数：地上38階・地下4階・塔屋3階
高さ：約200m
敷地面積：約11,600㎡（約3,500坪）
延床面積：約212,000㎡（約64,000坪）
駐車場：約260台



□ JPタワー 商業ゾーン「KITTE」

店舗面積：約9,400㎡（約2,800坪）
物販：約5,200㎡（約1,500坪）
飲食：約4,200㎡（約1,300坪）
店舗数：98店舗
物販：71店舗
飲食：27店舗



□ アクセスMAP

